

●国際関係学部 国際学科（高一種免（地理歴史）、高一種免（公民））

国際関係学部においては、社会科学ならびに人文科学の立場から、国際関係・文化の動向・諸事象を、政治・経済・社会・文化等の知見をもって総合的・包括的、グローバルかつローカルな視点から考察し、国際化する社会のさまざまな現場で、実際に活躍できる国際社会における「不言実行・あてになる人間」を育成するべく教育の充実をはかってきました。

国際学科では、政治・経済と社会・文化の繋がりを重視し、学際的（inter-disciplinary）な視野を備えつつ、国際的な知識・感性・倫理観・言語能力・実践力を持った、グローバルな人材を育成しています。

教員養成に対しても、歴史や地理を切り口として政治や経済のグローバル化を理解し、民族や宗教にまで視野を広げて学習成果を教示できる教員の養成を目指しています。地理歴史や公民といった科目に対して、深い理解と幅広い知識を有しているだけでなく、複雑化する地域社会から学び続け、グローバルな視野を備えた新しい時代の教育の担い手として、地域と共にある多種多様な教育現場で社会に参画しうる教員を輩出することを目標としています。

高一種免（地理歴史）および高一種免（公民）においては、「法学概論」「政治学概論」「経済学概論」「世界史概論」「人文地理学」などの基本科目を配しています。さらに本学科の特徴である「学際的な視野を備え、分析力と実践力を持つ社会科教員」の育成のために、「国際協力論」「比較社会論」「比較宗教学」「人間と環境」などを配しています。これらの科目を履修することにより、「多文化共生社会」の道を探り、「持続可能な社会」実現を構想しうる教員の養成が可能になると考えています。